



いたやなぎ

2026.5.8

No. 49

令和8年
6月定例会

Itayanagi Town

Council Newsletter

議会だより

contents

定例会情報

令和8年度予算決定

一般会計予算 約76億円

・・・P2～3

特集

統合小学校関連予算

「現在地」とこれまでのながれ

・・・P4

百条委員会

- 事実解明へ -

・・・P5



新しい学校、どこへ向かう？

議場が揺れる小学校問題



令和8年度予算決定

「統合小学校」「学童クラブ」関連予算約15億円は成立せず

一般会計予算 約76億円

3月 定例会

予算をつくる

結婚・出産・子育ての希望をかなえる

- 学校給食費無償化事業補助金 3千499万6千円
- 高校生通学費等給付金 1千716万円

魅力的な地域をつくる

- 町内会防災活動等運営給付金 290万4千円
- 旧板柳高校駐車場整備工事 6千927万7千円
- 中学生国内英語研修事業 225万円

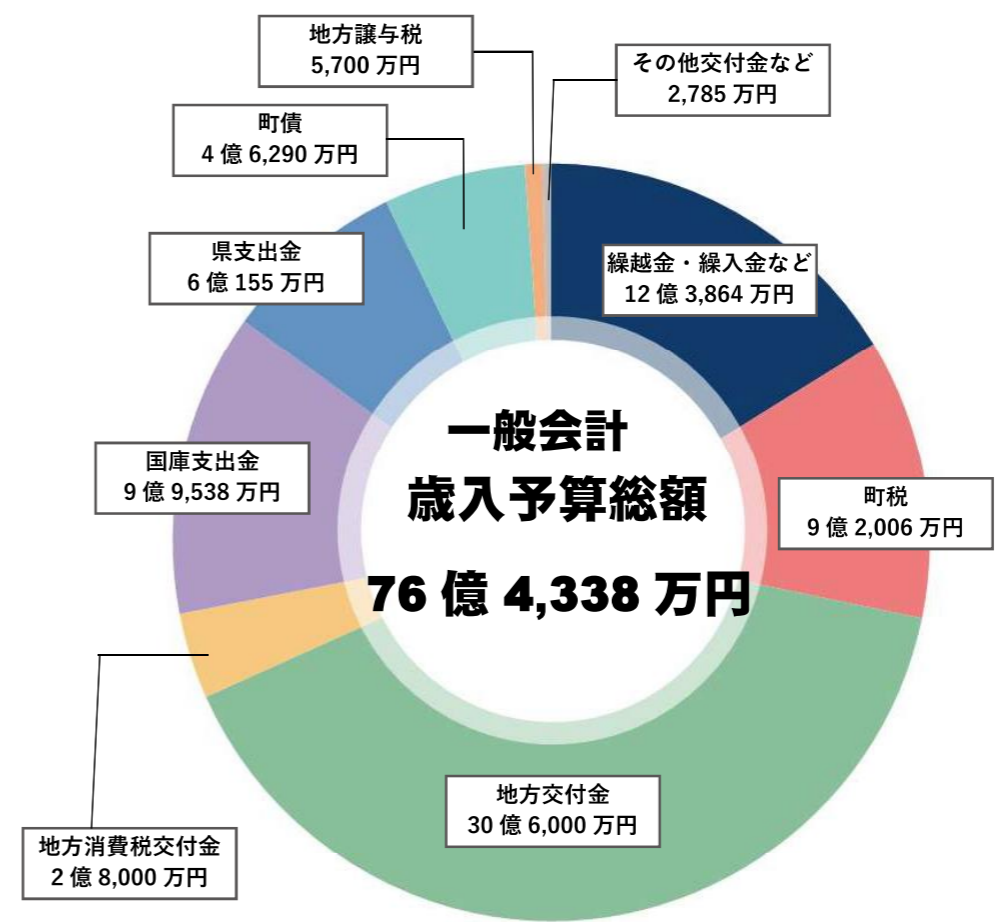
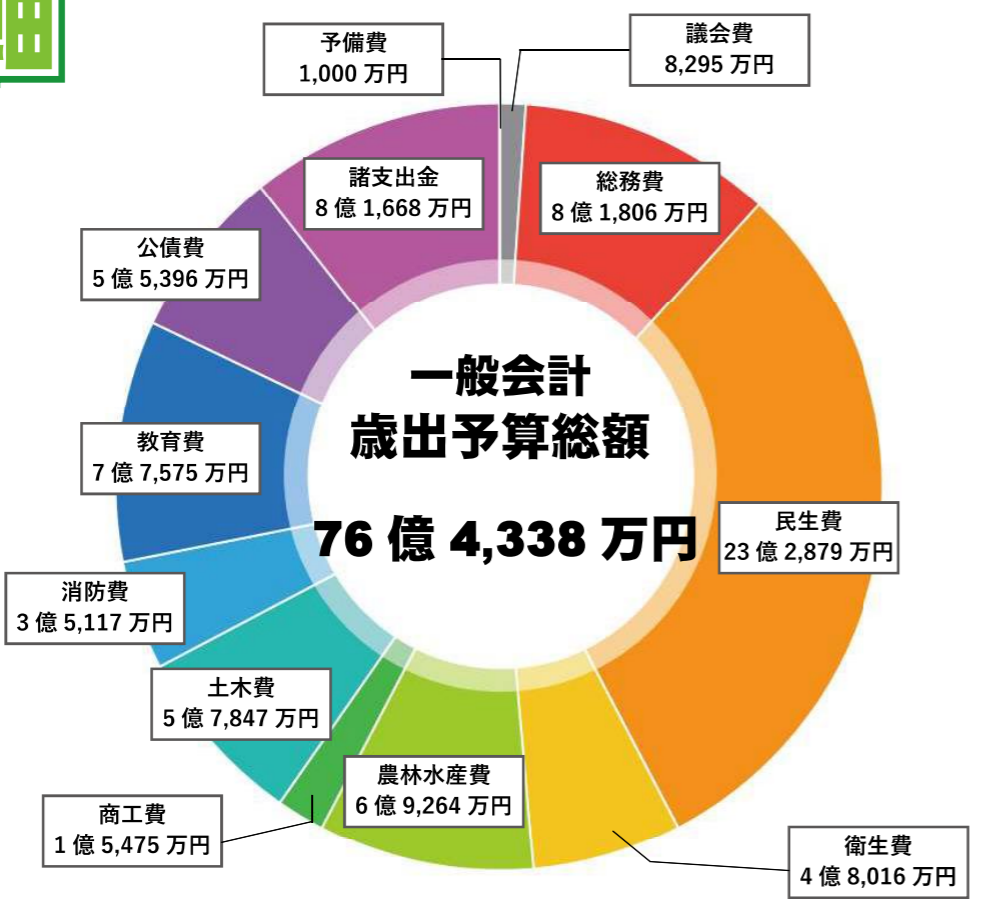
地方に仕事をつくる

- 収入保険加入促進事業費補助金 1千166万9千円
- 創業支援補助金 300万円
- 商品券発行事業 660万円

人の流れをつくる

- 空き家利活用定住支援事業費補助金 280万円
- いたやなぎ未来サポーター事業 200万円

4つの軸



会期
3月6日(金)
3月16日(月)

提出議案

当初予算 7件
補正予算 6件
専決処分 4件
条例改正 6件
その他 2件

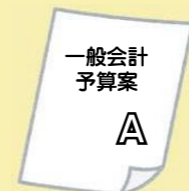
計25件
原案可決 24件
修正可決 1件

統合小学校関連予算

「現在地」とこれまでの流れ

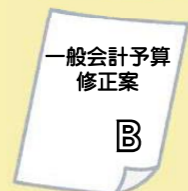
①第9回定例会最終日（3月16日）

一番最初に町長が出した予算
（4月から使う予定のお金）



一般会計予算案の採決時

議員
「修正してください」



一般会計予算案から「統合小学校」と「学童クラブ」に関連した予算を削る、修正案が議員から提出される

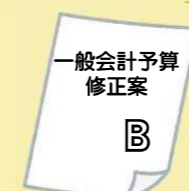
賛成が過半数いればOK
賛成：6、反対：5で【可決】



議員から提出された「修正予算」が可決

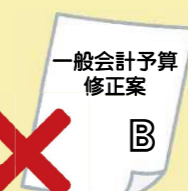
②第9回臨時会（3月18日）

町長
「もう一度やり直して」



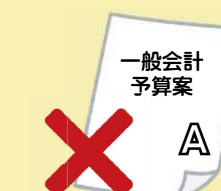
可決された「修正予算」を「再議」に付す

この場合は過半数ではなく、3分の2以上の賛成が必要
賛成：6、反対：6で【否決】
※特別な採決なので、議長も加わる



3月16日に可決された「修正予算」をもう一度採決

これはまた過半数の賛成が必要
賛成：5、反対：6で【否決】

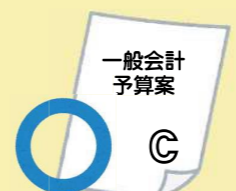


「修正予算」が否決されて、3月16日に「町長が一番最初に出した予算」を、さらにもう一度採決

「町長が一番最初に出した予算」が否決されてしまったので、「4月から使う予定のお金が全くない」状態に

③第10回臨時会（3月23日）

全員賛成で【可決】



4月から使えるお金がないのは困るので、最初から「統合小学校」「学童クラブ」の金額を除いた予算を町長が提出

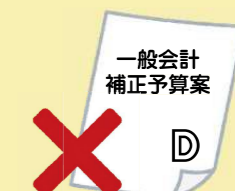
賛成5、反対6で【否決】



今度は「統合小学校」と「学童クラブ」だけの予算を追加で提出

④第11回臨時会（3月23日） 第12回臨時会（4月14日）

両日とも賛成5、反対6で【否決】



その後2回の臨時会で提出したが、全て否決となっている

百条委員会

— 事実解明へ、不適切行為等調査特別委員会、を設置 —

設置の経緯と目的

本委員会は、町議会議員による「町職員へのパワーハラスメント」および「町公共工事への入札介入」の疑いについて、地方自治法第100条に基づき事実関係を究明するために設置された。

1. パワーハラスメントの疑い

令和5年11月の行政視察中に発生した事案について、町当局に調査の姿勢が見られないことから、議会として厳正な調査が必要と判断。

2. 入札介入の疑い

議員が特定業者に対し「指名に入れる」と発言したとの情報があり、公共工事の公正性を著しく損なう恐れがあるため、事実確認を行う。

町当局の当事者意識が欠如している現状を鑑み、議会自らが強い調査権限を持って真相を明らかにする。

30秒でわかる「百条委員会」

どんなもの？

自治体の不祥事やトラブルについて、議会が「本当のことを調べる」ための特別な委員会です。

何ができる？

関係者を呼んで質問したり、書類を提出させることができます。

何がすごい？

「行きたくない」「言いたくない」という拒絶ができません。

“ウソをつけば罰せられる（刑罰がある）”という非常に重いルールがあります。






町民の声を町政に

第9回定例会一般質問

令和8年3月9日に行われた一般質問では5名の議員が登壇し、町政の課題について質問しました。一般質問は、議員の日頃の活動を通じて寄せられた町民の声や議員自身の考えをもとに、町長や教育長の方針を問う場です。板柳町議会では、1人60分の持ち時間が設けられています。

質問者と質問内容



質問者	掲載ページ	質問内容
 会津大郎議員	P7	○豪雪による危険な空き家への対応 ○消火栓の除雪と地域防災 ○自然災害に負けない「強いリンゴ産業」
 工藤貢議員	P8	○入札の不透明さと適正化を追求 ○膨れ上がる統合小学校の整備費用と財源
 葛西幸男議員	P9	○2つの訴訟（指名外し・パワハラ認定）と町の対応 ○豪雪によるリンゴ被害と支援策
 三浦和馬議員	P10	○学童保育施設の安全確保と避難体制 ○少子化対策と不妊治療への独自支援
 佐藤聖也議員	P11	○空き家活用と「三方よし」の雪置場 ○学童クラブ整備によるトラブルの防止 ○学童クラブ建築工事費約7千万円増額の根拠

議会を傍聴しませんか <令和8年6月定例会>

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
				開会		
7	8	9	10	11	12	13
	一般質問	各常任委員会	閉会			

傍聴者名簿に住所、氏名、年齢を記入していただければ、どなたでも本会議を傍聴することができます。YouTubeに映り込む可能性がありますので、ご了承ください。



↑会津大郎議員の動画へ



あいつ だちろ
会津大郎

リンゴ栽培に関する勉強会の検討を

りんご産業

この質問に注目!

豪雪に関する町の対応

問 2年連続の豪雪で建物の倒壊が相次いでいる。特に道路に面した危険な空き家については、町は現状をどう把握し、今後どう対応するのか。

答 (葛西町長) 道路に面した危険な建物は3か所把握している。所有者へ片付けを依頼しているが、進んでいない現状である。

現在策定中の「空家対策計画」を活用し、一歩踏み込んだ対応を検討したい。

問 私の地元でも建物が道路側に傾き、歩道を塞いでおり、住民から不安の声が多い。計画策定後の「行政代行」などの強い措置も考えているか。

答 (工藤総務課長) 令和7年度中の策定、8年度の施行を目指している。代執行は通学路などの条件があるが、国などの補助制度と照らし合わせながら検討する。緊急性がある場合は、県とも連携して道路の安全確保に努めたい。

町の防災対策

問 雪に埋もれた消火栓が多く、火災時に困るのではと思う。消防団の負担も限界に見えるが、町内会に管理を委託するなどの工夫はできないか。

答 (工藤総務課長) 消防団へ除雪を依頼しているが、豪雪時は手が回らない状況も理解している。町内会への依頼は地域の高齢化等の課題もあるが、今後の検討材料としたい。

問 消防団員が減少する中、地域単位での防火訓練も必要だと考えている。いざというときの避難場所や連絡体制は万全なのか。

答 (工藤総務課長) 役場倒壊時は「あぶる」を地震避難所に想定している。今後も地域ごとの運営訓練等を継続し、共助の意識を高めていく。

リンゴ栽培の勉強会

問 近年の自然災害に負けないため、町主導で様々な勉強会を開催してはどうか。団体ごとの垣根を越え、選定技術や鳥獣被害対策の知識を共有し、補助金に頼らなくても自立できる強い農家を育てるべきではないか。

答 (葛西町長) 選定講習会を1か所に集約して実施するよう担当課に指示している。情報共有とあわせ、農家同士の交流も大切にしながら、板柳町の誇る米とリンゴの「強い農業づくり」を官民一体で進めたい。

問 実現すれば、板柳町は間違いなく「世界一のりんごの里」になると確信しているため、前向きな検討をお願いしたい。



↑工藤 貢
議員の動画へ



工藤 貢

統合小学校事業を 改めて見直すべきでは

この質問に注目!

統合小学校

町発注工事に係る 入札の適正化

問

町発注工事の指名業者や落札結果を見ると、特定の業者ばかりが落札しており、落札率も95%と極めて高い。町長が特定の業者を付度し、談合の温床をつくっているのではないかと、最低制限価格の漏れも疑わざるを得ない。

答

(葛西町長) 指名は私が総合的に判断している。

落札率は業者間の競争の結果であり、町がコントロールできるものではない。また、最低制限価格の漏れい疑惑は、全くの事実無根である。

問

「コントロールできない」との答弁があったが、指名の仕方によってはコントロールできるものではないか。

答

(葛西町長) 先ほども言ったが、指名については私が総合的に判断して決めている。これは行政が介入できるものではないので、ご理解いただきたい。

工事費30億円から39億円に増えた統合小学校

問

統合小学校の工事費が、住民投票時の30億円から1年で39億円へと9億円も増額された。資材高騰が理由というが、当初の積算自体に問題はないか。

答

(葛西町長) 住民投票の結果を尊重しつつ、安全な教育環境を整えるため、国の支援や地方債を最大限活用していく。

工事費財源内訳

南小学校改修工事費	
・国庫補助金	約 9.6 億円
・地方債	約 26.2 億円
・一般財源	約 2.8 億円
学童クラブ	
・国交付金、 県補助金	約 1.3 億円
・一般財源	約 2.5 億円

※財源内訳は左に記載

問

2年続きの記録的な大雪で、枝折れや幹の亀裂など深刻な被害が出ている。今冬のリンゴ園地への被害状況(被害面積、被害額)と支援策について伺う。

答

(葛西町長) 全ての状況を把握できてはいないが、町全体の被害率は10〜15%前後だと推察している。支援策については、融雪剤や塗布剤の購入費助成、ドローンによる融雪剤散布に係る請負経費の助成、雪害による苗木の改植事業などが見込まれている。

豪雪によるリンゴ園地の被害状況とリンゴ農家への支援策

問

昨年の融雪剤購入費助成を利用した農家戸数と総事業費は。

答

(小枝産業振興課長) 昨年の融雪剤助成は344名が利用し、補助金合計は約403万円であった。

問

他市町村では、苗木や支柱、木材の購入費助成などを行っているが、当町でも考えてみてどうか。

答

(葛西町長) 苗木改植は国の改植事業の対象にもなっているため、現段階では融雪剤の助成が一番であると思つて実施している。町が最も力を入れている「収入保険への加入助成」である。

問

何かあるか分からない状況の中で、農家の皆さんが心に余裕を持って農作業を進めていただきたという気持ちから、そちらに力を入れている。

この質問に注目!

豪雪被害

雪害を受けた農家へ 手厚い支援を



↑葛西幸男
議員の動画へ



葛西幸男

不当な指名外し とパワハラ認定 の2つの訴訟

問

町内業者による「不当な指名外し」の提訴と、元町議による「パワハラ認定」への損害賠償訴訟。

この2つの裁判が長期化し、担当職員の負担も増大していると思うが、町長はどう受け止めているのか。

また、入札執行者として指名の際に留意していることは。

答

(葛西町長) 訴訟は主張が続く限り継続するものであり、長期化とは考えていない。事務を適切に遂行している職員には感謝している。指名は、入札ごとに私が総合的に判断して選定している。

問

指名外しについて、町長の裁量権逸脱との指摘があるが、入札執行者として何を留意しているのか。

答

(葛西町長) 何度も答弁しているとおり、私が総合的に判断した結果である。内容については、ここまでは控えさせていただきます。

樹木の豪雪による被害





↑三浦和馬 議員の動画へ



みづら かずま 三浦和馬

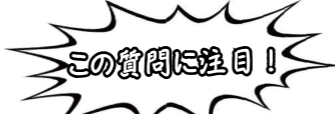
学童保育施設

問 土曜日に利用している町公民館の避難訓練や避難経路はどのようになっているか。

答 (葛西町長) 施設に合わせた避難経路の設定や訓練を実施している。

不妊治療に対する町独自のサポートを

少子化対策



この質問に注目!

特に公民館は学校と環境が異なるため、重要だと認識している。積雪時は正面玄関を避難経路とするなど、新しい施設ができるまで安全確保に努める。

少子化対策

問 冬の公民館(講座室)は老朽化で窓ガラスが割れる心配もあり、避難経路も遠く暗いため、保護者から不安の声が出ている。

答 (八木橋介護福祉課長) 昨冬も安全を考慮し、一時的に2階の和室を利用した。

冬休みなどの長期利用は他団体との調整も必要だが、子どもたちが同じ環境で安全に過ごせるよう、場所の確保に向けた検討を進める。



学童クラブ避難訓練

問 町が行っている少子化対策の内容と、特に経済的・精神的負担の大きい「不妊治療」への支援について、町の考えを伺う。

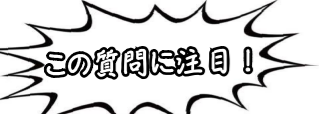
答 (葛西町長) こども家庭センターによる相談体制の強化や、出産祝金、医療費給付、各種住宅補助など、切れ目のない支援を行っている。不妊治療については現在、県の助成事業が中心となっている。

問 県の不妊治療助成(体外受精など)には「回数制限(原則6回)」があり、上限を超えると全額自己負担(1回10万~20万円)となる。子どもを望みながらも経済的理由で諦めざるを得ない夫婦を、町としてとことん応援すべきではないか。

答 (葛西町長) 制限回数以降の町独自のサポートを提案する。

問 子どもが欲しいと思いう方へは町としてとことんバックアップ、応援してもらいたい。

県への働きかけと並行して、他自治体に負けない「板柳の本気」を見せる独自のサポート体制もぜひ検討していただきたい。



この質問に注目!



↑佐藤聖也 議員の動画へ



せiya せいや 佐藤聖也

学童クラブ建設工事費はなぜ増額したのか

学童クラブ

住宅密集地や狭い道路で寄せ雪により通行に支障が出ている。現状と改善方針は。

問 住宅密集地や狭い道路で寄せ雪により通行に支障が出ている。現状と改善方針は。

答 (葛西町長) 深夜から除雪を行い通行確保を優先、日中はパトロールをし幅出し・排雪を実施している。今後は回数を増やし対応を強化する。

問 雪捨て場が不足しているが、空き地などの活用状況は。

答 (大場地域整備課長) 河川敷の利用を周知しているほか、一部では土地所有者の厚意により空き地を雪置き場として活用している。

問 空き地提供者への固定資産減免など支援制度の創設は考えられないか。

答 (葛西町長) 空き地の確保や借用について、謝礼や制度も含めた場合に検討したい。

地盤改良に伴う、隣接する板柳中継ポンプ場周辺の送水・配水管の安全確保

問 地盤改良に伴う中継ポンプ場周辺の送水・配水管の安全確保について、町民の安心のための根拠を伺いたい。

答 (葛西町長) 地質調査に基づき「深層混合処理工法」を採用する計画である。振動が少なく信頼性の高い工法で、埋設管は整備違いにあり影響はない。

問 地震時の沈下ポンプやポンプ場への影響も含め、安全性は確認されているか。

答 (八木橋介護福祉課長) 調査により地盤改良が必要と判断し、改良体約270本で地盤を強化する。振動が少ない工法で、下水道管への影響は極めて軽微と判断している。

学童クラブ建築工事費増減の根拠

問 学童クラブ建築工事費が約7千万円増額した根拠と妥当性は。

答 (葛西町長) 資材価格や労務単価の上昇、電気設備の値上げが主因である。擁壁や給排水工事費も含め、妥当と判断している。

問 工事費増額に伴い、交付金の額はどうか変わるか。

答 (八木橋介護福祉課長) 現状では交付金の額に変わりはない。

問 今後も増額の可能性がある中、丁寧な説明を求める。

答 (葛西町長) 「安く」ではなく「使えるものを活用する」方針で進めてきた。引き続き理解を求めていきたい。